

町田通勤寮だより

NO 45 2014年5月

東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

平成26年4月1日付で通勤寮寮長に着任いたしました金親と申します。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

4月は出会いと別れの季節と「挨拶」代わりに話題としてよくあがります。

通勤寮は「地域」へと送り出しをしていくミッションをもっています。地域移行という目的に向けて、送り出しをしていく際には「別れ」もあり、新しい場所に行くときには「出会い」があるはずと、背中をおしていく勇気が支援者にも問われる時があると思います。

新しい出会いが前向きに捉えられる気持ちであるのか、不安が拭いきれないまま後ろ向きに捉えることしかできず、払拭できないまま過ごしていくのか・そういう思いに誠実に向き合っていく気持ちがあるかと自分と向き合いながら、いつも「春」を迎えます。

「一期一会」 ありきたりな言葉ではありますが、どんな新鮮な出会いがあるのか、胸をはって見送ることができる「別れ」ができるのか、どんな立場の人であれ、ひとつひとつの出会いと別れを積み重ねていけるような現場でありたいと希望をもつてのぞんでいきたいと思えます。

(金親)

入寮オリエンテーション・バーベキュー

4/6(日)に全利用者さん対象にしたオリエンテーションを行ないました。3月末から新規入寮者が入っているので、新年度を迎え目標や課題を意識して取り組めるよう、利用目的や支援内容を周知し、意識を高めるのが目的です。後半には個別支援プログラムの説明もあるので、主要時間が約4時間掛かり、利用者さんにとっては長時間になります。気持ちを新たに新年度を迎えられる様にと毎年取り組んでいます。

内容は「自立に向けて」「利用目的」「生活のきまり」「金銭管理」「講座・行事について」「自治会について」を各職員がそれぞれ説明を行いました。青木からは「生活のきまり」について説明をしました。利用者さんは毎年説明を受けているとの事で、配布書類も一部改訂し、昨今トラブルが続いている「物の貸し借りをしない」や「大きな音や声を出さない」を追記させて頂き、利用者さん同士気分良く通勤寮生活が送れる様、お互い配慮して欲しい旨を補足しました。仕事で疲れて、苛々しているのはお互い様だと思います。人の事を言う前に自分の事を振り返りたいですね。他にも細かい注意事項を説明し、再確認

をしてくれたのではないかと思います。各利用者さんは「自立訓練で通勤寮を利用している」と言う意識を明確に持ち、それぞれの目標に向かつて日々頑張つて頂ければと思います。

オリエンテーションについては来年度以降、内容や進め方を再検討する事も考えていますので、宜しく願います。(青木)

オリエンテーション終了後は、みなさんお待ちかねのバーベキュー大会。

前日の買出しから寮生が率先して手伝いをしてくれたおかげでスムーズに進めることができました。女性は主にバーベキューの下ごしらえとカレー作りに取り掛かり、男性は中庭でバーベキューの設営、炭起こしを手伝ってくれました。長時間のオリエンテーションでお腹が空いていたのか、「味見、味見!」と言いながらつまみ食いをしてる寮生もいました。

バーベキューが開始されると、瞬く間にカレーへと飛びつく寮生。いっきにお腹に入れたせいでその後は箸が進まない状況…。多めに用意した肉や海鮮、焼きそばが大量に余ってしまいました。「もうこれ以上入らないよ。」と無理して食べる姿は異様な程でした。これは次のバーベキューに活かしていこうと思います。しかし、寮生同士、また寮生と職員の交流を深められるよい機会となりました。今回は8月にバーベキュー大会が予定されています。夏に相応しいメニューを検討しているので、皆さん次回に乞うご期待! (柄本)



食堂でのオリエンテーション



バーベキューの準備

ソフトボール部奮戦記 春の大会スペシャル

5月11日(日)、栃木県壬生町にある壬生総合運動場にて第22回関東地区通勤寮ソフトボール大会が開催されました。

前年度は悪天候のため中止、初優勝を飾った一昨年以来の開催です。つまり町田通勤寮はディフェンディングチャンピオンとしての出場です。選手15名、マネージャー3名、職員4名の総勢22名が3台の車に分乗して早朝5時半に寮を出発、早目の出発が功を奏し、休憩を挟んで約2時間で現地に到着。前回の覇者らしく堂々と(でもないか)会場入りしました。会場は夏を思わせる暑さ。

大会当日からさかのぼる事2週間、いつもの南成瀬小学校グラウンドにて練習が実施されています。時間に余裕があり、シートノックやフリーバッティングではポジションをこまめに入れ替えながら適性

の見極めと経験値の積み上げを図り、充実した練習ができたことは幸いでした。

当初は前回優勝チームのためシードとの噂でしたが、結局はくじ引き。「まあ3試合できるからいいや」と前向き。

初戦の相手は自立サポートセンター歩（神奈川）、旧白根青年寮です。町田にいちばん近い寮としてソフトボールでもよく合同で練習したほか、他の行事でも交流のある顔なじみのチームです。「お久しぶり」「太った？」など挨拶もそこそこにプレイボール！安定した守備と繋がり重視の打撃で相手を寄せ付けず23対0で圧勝しました！

「容赦ないなあ」とは歩の監督さん。主力の練習不足が祟ったとか。その他にも相手チームの利用者さんから「いやあ最近スロットが楽しくてさ」との発言も。そんなこと言わずにまた一緒に練習しようよ！

2戦目は地元かえで寮との対決。かつて上位の常連だった古豪です。町田とは対戦回数も多く、ここでも「元氣そうじゃん！」と再会を喜ぶ声が続出。ここでも初戦同様堅実に得点を重ね大量リードを奪いましたが、途中から流れがピタリと止まりました。相手内野陣が守備を変更。左方向に「引っぱり」の打撃が目立つ町田に対し三遊間と一塁を徹底強化してきたのです。さすがはかえで。おかげで強打が次々と相手のグラブに吸い込まれ、得点は頭打ちに。加えて投手の投球フォームがボークを取られかねないとの指摘があり、急きよマウンドから降ろしてブルペンで矯正。その影響は守備に顕れ、じわりじわりと点差を詰められベンチは冷や汗。17対10で辛くも逃げきりました。いやあ危なかった。

そして2年連続の決勝戦。相手は大田通勤寮。合同練習の常連で因縁からぬ相手です。

相手投手はなじみ深い大田の中でも特に付き合いの長い人物。実力派ながら短気という彼を攻略する方法はただひとつ「ボール球に手を出さない」。決勝戦のみフェアゾーンのボールデッドなしというレギュレーションもあって、徹底して守備重視のオーダーを組みました。相手の攻撃を耐えてしのぎつつ、選球を尽くしたところ、四球から相手が浮足立ち、攻守に綻びが。コツコツと加点して終わってみれば9対2でしたが、先にこちら側にミスが出れば全く逆の展開になっており、点差以上に苦しい戦いでした。

連覇達成！みんな爽やかな笑顔で（意外とクールに）ベンチへ戻りました。グラウンド上の選手も、ベンチで仲間のサポートに徹した控え組も、道具の出し入れや水分補給などのバックアップをこなしたマネージャーもみんな笑顔。全員でつかんだ勝利です。

ひとつ惜しまれるのは参加チームが6チームと、全盛期の半分以下になってしまったこと。当時の白熱を知る一人としては、今回の戦力が、当時の強豪に勝るとも劣らないと思えるだけに残念でなりません。相手チームや大会関係者のお話では通勤寮の衰退以外にも、競技者そのものが減ったことや、寮によっては高齢化が進んだこと、サービスマスターの増加で土日の出勤者が増えた事など要因は様々なようです。「あと何回出来るかな」と呟きながらも、「また来年会おうぜ！」など他県他寮の皆さんの声を聴くと続けられる限り続いてほしいと願ってしまいます。

さて、帰路は事故渋滞に巻き込まれて4時間近くかけて帰寮。疲れ
ていても後片付けを分担してこなしていたのはさすがです。
翌日ほぼ全員が日焼けの後遺症と筋肉痛に苦しみ呻いたのは言う
までも有りません。

今回は6月7日(土)の東京都障害者スポーツ大会(ソフトボール
部門会場・上井草球場)が控えています。

また、前後して5月24日(土)、6月28日(土)には練習がありま
す。今大会で声を掛けた他寮の方々にも参加して貰えたら何よりです。

(山内)



決勝戦での一コマ



決勝戦でもヒットの連発!



当日は真夏日のような暑さでした



栄えある優勝を飾りました!

クラブ活動

四月十三日(日)風もなく晴天の中、今年度初めてのクラブ活動で
こどもの国まで遠足に出かけました。

募集をかけても女子の参加率は相変わらずですが、今回は男性2名
と新規入寮の女性1名が参加してくれました。

昨年と同様に外周を歩き、野生の草花をみて回りました。

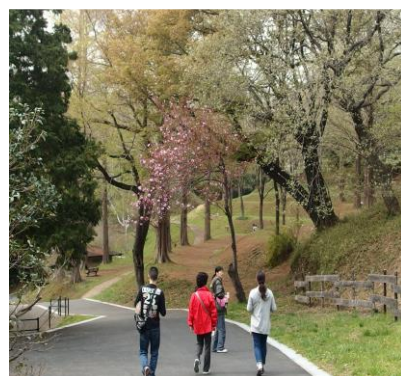
この時期は八重桜やしだれ桜、芝桜がきれいで寮生の一人が「カメ
ラ貸して!」と夢中で撮っていました。あとで確認するとなかなか上
手に撮れていました。

入園して早々ソフトクリームに目が行き、休憩が先になってしま
いましたがその分エネルギーを先に補給できたので、それはそれで良
かった様です。

クラブ活動の遠足は年に一度ですが、来年は時期と場所を変えてまた違ったお花を楽しめるように計画する予定です。
(浅田)



桜の木の前で一枚



天気にも恵まれました

フクシア便り

つい最近、中南米でマグニチュード8.2という大きな地震がありました。当然津波も発生し、あの大きな太平洋を横断し我が国にも押し寄せてきたのです。

いつ起こるか分からない“災害”。今後30年間で起こりえる災害の確率は実に80%とも言われています。

ユニット14か所も抱えるフクシアでは、災害時に備えて対策を練りました。各ユニットにカセットコンロを準備し、最低でも3日間(できれば10日間)の水及び食糧の確保を義務付け準備しました。「備えあれば憂いなし」昔から言われている言葉ですが、心に重くのしかかっています。

出来ることならばカセットコンロなど使わなくて済めばいいのですが・・・。

人間の力ではどうにもできない自然の力に少しでも立ち向かうことは必要ですし、一番大切なことは「心の準備」から始まると思います。まず始めましょう！心と物質的な準備を！

(市川)

お誕生日メニュー

昨年度よりお誕生食を企画し4ヶ月に一回1年で3回行いました。誕生日の利用者さんにリクエストメニューを提出してもらいその中から選んで提供しました。メニューはその日まで秘密なので「何がでるの？」と皆さん気になっていました。やはり楽しみだったようです。皆さんからは「お腹いっぱいおいしかったよ！」などといった感想がありました。引き続き本年もやります。お楽しみに!!

(東田)

提供したメニュー

- 一回目(4月～7月生 7/7 実施)
 - ・ステーキ(ポテト・とうもろこし添え)、ライス、サラダ、人参ポタージュ、サラダ、選べるデザート(チーズケーキ・ティラミス・牛乳きなこプリン)
- 二回目(8月～11月生 11/17 実施)
 - ・天井、味噌汁、酢の物、りんごケーキ
- 三回目(12月～3月生 3/16 実施)
 - ・ビーフシチュー、ライス、サラダ、マドレーヌ

職員自己紹介

〈通勤寮職員〉

・41歳にして不惑、拘らずを心がけるようになりました。映画と漫画にいつも気持ちのありかたや発想をもらい、日々諦めずに取り組めるよう家族に力をもらっています。ありがたい。息子二人はいつもいっつも元気です。

(寮長 金親)

☆

・福島県で生まれ、川崎で育ち、千葉で学び・働き、町田に住んで30年。4月に長男の息子が小学校に入学しました。

3・11で「原風景」を失った喪失感からまだまだ立ちなおれずに、「何かできることがあるのではないか。」という思いの中で悶々としているもう一人の自分がいます。

(事務 三階)

☆

・2歳の娘に「コーラはダメよ！水だけ」と言われるようになりました。その娘をダシに戦隊ヒーローショーを観に行ったら出演が若かりし日に所属していた事務所。先輩が（もちろん年上）今なお現役と知って「まだまだ頑張らないとなあ」と痛感。厳しく鍛えられたあの頃の経験はとても懐しく今も財産です。

(主任 山内)

☆

・この度、5月5日に入籍しました。今まで親に頼ってきた家事に悪戦苦闘中。改めて親のありがたみを実感する毎日です。今年は親孝行の年、ということできっそく親子水入らずの旅を計画中。（旦那はさとおき…）

(支援員 柄本)

・通勤寮に来て1年が経ちました。1年はあつという間だと感じています。子どもも中学校に入学し、手が離れつつありますが、子育ても仕事も頑張りたいと思います。

(支援員 浅田)

☆

・4月29日に第二子が生まれました。世間でも良く言われる事ですが、「親になって、初めて親の有難みが分かる」を実感しています。未だ「稚児の手」の我が子ですが、子育ての経験も利用者支援に活かせられればと思っております。

(支援員 青木)

☆

・通勤寮での勤務が3年目となりました。昨年度はパン工房もくもく店2号店の開店の夢は実現しませんでした。今年こそは。今後ともよろしく願います。

(支援員 岩崎)

☆

〈通勤寮調理員・警備〉

・通勤寮に入職して9年目になります。体力の衰えと認知も感じますが、利用者さんとの親子漫才のような会話に楽しく仕事をさせていただいています。新年の抱負だった「断捨離」をやっと始めました。なかなか執着心が強く…。2年目標でやります。

(調理員 東田)

☆

・月日の経つのは早いですね。4年目に入りました。初心に戻り体重を減らしながら今年も努力したいと思っております。子育てが終わり、ホッとする間もなく長男が結婚する事になりこれから家族が増えまた忙しくなりそう…。幕開けです。

(調理員 大場)

・「スー」こと鈴木です。鈴木を名乗って早46年にもなろうとしています。話せば長くなりますので省略させていただきますが、そろそろ…いや、とつくに飽きています。別名といってもそう簡単には…。私にも選ぶ権利は多少はあるはず…。仕方がない。このままで行きま

す。
(調理員 鈴木)

★

・皆さま今日は。調理の高田です。今年で6年目になります。去年よりおいしい食事作りを目指し、一生懸命取り組みたいと思います。今年度も宜しくお願いします。

(調理員 高田)

☆

・通勤寮での仕事も1年半。ますます調理の難しさを実感しています。皆さんの「ごちそうさん」の声を励みに頑張っています。そして今年度は月一回の登山を目指します。

(調理員 津田)

★

・入社して4ヶ月になります。なかなか手順が覚えられません。まだまだ迷惑をかけると思いますが、頑張っているいろいろな事を一生懸命します。ですので宜しくお願い致します。

(調理員 吉野)

☆

・警備の石原です。昨年5月11日に森野4丁目より木曾西5丁目に引越しました。1年経過してやっと落ち着きました。今年も常に職員・寮生健康第一で。通勤寮の内外の見回りも無事故で頑張っています。

(警備 石原)

★

・寮生が元気に社会に旅立っていく姿を見てうれしく思います。これからも健康第一、無事故を祈っております。

(警備 佐藤)

★

〈フクシア〉

・フクシアに異動となつて8か月。溜息が多くなってきた今日この頃です。趣味のゴルフをやる機会も少なくなりストレスが溜り気味…。学園の看護婦さんから「お酒を控えめに」と注意を受け、ますます気が重い日がつづいています。だれか助けて!。(センター長 市川)

☆

・四十前而不惑。森羅万象に感謝の気持ちで。(主任 谷本)

★

・30代最後の年。横浜生まれの横浜育ち。趣味はなし。特技はどこでも寝ること。椎間板ヘルニアを患いブロック注射のお世話になっている。息子14歳の春…溺愛するも拒否反応有り。そろそろ子離れを検討中。

(支援員 秋本)

☆

・京都府出身。6歳と4歳になる二人の息子がいます。趣味は、スポーツ観戦と昼寝です。月に数回は通勤寮の宿直勤務がありますので、寮生の皆さんよろしくお願いします。

(支援員 大槻)

★

・郷里の広島を離れ早16年。東京生活8年目。自分では標準語で話しているつもりです…。フクシアも6年目になりました。思考は言動を変え、言動は行動となり、行動が習慣に、習慣が性格に、性

格が運命を変えよとの名言があります。自分の考えが正しかったのか？と迷う毎日ですが、日々迷いながら、これからまだまだ自分は変わる！と信じて頑張っ行ってこうと思っています。 (事務 上妻)

☆

大阪府出身。高校入学と同時に関東へ来て25年が過ぎました。仕事にも子どもにも自分にも、正直かつ柔軟でありたいなあと思う今日この頃なのです。 (事務 大矢)

今後の予定

- ・ 5月24日(土) ソフトボール練習
- ・ 6月7日(土) 第15回東京都障害者スポーツ大会
(杉並区上井草スポーツセンター野球場)
(*ソフトボールでの参加予定)
- ・ 6月15日(日) 調理実習
- ・ 6月22日(日) クラブ活動
- ・ 6月28日(土) ソフトボール練習
- ・ 7月13日(日) 保護者会

編集後記

先月号に書くこうと思ったのですが、今年の三月で東日本大震災から3年以上の月日が経過しました。記憶が風化することはありませんが、東北から離れた場所で生活する私たちにとっては遠い国の出来事のように感じることもあるのではないのでしょうか。世間では復興特別

税や原発デモなど様々な動きがあり、被災地で生活する方々にとって少しでも有益な何かをもたらしたのであれば、喜ばしいことにこの上ないです。

僕自身は一昨年に被災地支援で宮城県の気仙沼に行った経験があります。被災地に行つてその地域で生活する人と少しでも触れ合うことに大きな意味を感じました。ただ、被災者が感じた痛みや孤独、恐怖は同じような体験をしない限りはそれを共感することはできないでしょう。

しかし、一つだけ被災者を問わず普遍的な共通点があるとしたら、誰しも「故郷」があるということだと思います。また、生まれ育つた場所は違つたとしても、良い思い出を作つてくれた場所も一つの故郷になると私は思っています。自分自身の出身地は携帯の電波も入らない山梨の片田舎ですが、私にとって気仙沼や成瀬も故郷の一つです。被災地支援が今後どういった形で継続するかはわかりませんが、また一つの故郷へと帰りたいと考えています。

気温が上がり、体調にも影響を与える季節になりますので、皆さま御自愛ください。

(岩崎)